

コアシンポジウム 2

「消化管腫瘍の新展開 進行消化管癌における集学的治療の実際と課題」

主司会 掛地 吉弘（神戸大学大学院外科学講座食道胃腸外科学分野）

副司会 伊東 文生（聖マリアンナ医科大学消化器・肝臓内科）

消化管腫瘍の治療は、内視鏡切除や手術による外科的切除に加えて、化学療法、放射線療法、免疫療法などの選択肢があり、治療成績も向上している。集学的治療の戦略も工夫され、多くの臨床試験が行われている。多彩な集学的治療の最前線を紹介頂き、治療のタイミングや効果判定の限界、バイオマーカーなどの現状の課題を明らかにして克服への取り組みを紹介して頂きたい。